

開封日 年 月 日

ウエルアップ® ハンドローション 1%

<使用上の注意続き>

5. その他の注意

クロルヘキシジングルコン酸塩製剤の投与により、ショック症状を起こした患者のうち、数例について、血清中にクロルヘキシジンに特異的なIgE抗体が検出されたとの報告がある。

【薬効薬理】

1. 本剤は使用濃度において、栄養型細菌(グラム陽性菌及びグラム陰性菌)、酵母様真菌、ウイルス等には有効であるが、細菌芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)や一部のウイルスに対する効果は期待できない。

2. ウエルアップハンドローション1%の殺菌作用

本剤はin vitroの試験において、腸球菌、緑膿菌、Burkholderia cepacia、セラチアを30秒以内に殺菌した。

【取り扱い上の注意】

本剤の付着した白布を直接、次亜塩素酸塩で漂白すると、褐色のシミを生じることがあるので、漂白剤としては過炭酸ナトリウム等の酸素系漂白剤が適当である。

JAN

GS1-RSS



4



(07)14987288957017

火気厳禁

アルコール類
水溶性
危険等級Ⅱ
エタノール

キャップ:PP
ボトル:PE
ラベル:PET

使用後、フィルムをはがしてキャップをはずした後、空容器を図のように折り返しを外側に押しつぶして下さい。
(つぶした後は元に戻りません。)



速乾性擦式 手指消毒剤 ウエルアップ® ハンドローション1%

500mL Wellup® Hand Lotion 1% クロルヘキシジン製剤

1%

製造番号

使用期限

発売・技術提携 吉田製薬株式会社
東京都中野区中央5-1-10

製造販売元 丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2

400

300

200

100

ウエルアップ® ハンドローション1%

2010年10月作成 (第1版)	
日本標準商品分類番号	872619
承認番号	22200AMX00910
薬価収載	未収載
販売開始	2011年1月
再評価結果	1992年6月

貯法: 1. 避光した気密容器に入れて保存
2. 火気を避けて保存

使用期限: 3年(表示の使用期限を参照すること。)

注意: 取扱い上の注意の項参照

【禁忌 (次の場合には使用しないこと)】

- クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある者
- 腋、背髄、耳(内耳、中耳、外耳)
 - [聴神経及び中枢神経に対して直接使用した場合は、難聴、神経障害を来すことがある。]
- 臍、膀胱、口腔等の粘膜面
 - [クロルヘキシジン製剤の前記部位への使用により、ショック症状(初期症状:悪心・不快感・冷汗・眩暈・胸内苦悶・呼吸困難・発赤等)の発現が報告されている。]
- 損傷皮膚及び粘膜 [エタノールを含有するので、損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。]
- 眼

【組成・性状】

1. 組成 100mL 中
クロルヘキシジングルコン酸塩 1.0g(1.0w/v%)
及び添加物としてグリセリン、グリチルリチン酸二カルウム、ミリスチン酸イソプロピル、メチルフェニルポリソロキサン、エタノール、pH調整剤 含有。

2. 性状

エタノールを含有する無色澄明の液で、特異なにおいがある。
メタノール又はエタノール(95)と混和する。
本品10mLはアセトン10mL以下又は水1mL以下と混和するが、溶媒の量を増加するとき白濁する。
比重 d₄²⁰:0.862~0.872

【効能・効果】

手指・皮膚の消毒

【用法・用量】

手指・皮膚の消毒には、洗浄後、1日数回適量を塗布する。

1%

【使用上の注意】

- 慎重投与 (次の場合には慎重に使用すること)
 - 薬物過敏症の既往歴のある者
 - 喘息等のアレルギー疾患の既往歴、家族歴のある者
- 重要な基本的注意
 - ショック等の反応を予測するため、使用に際してはクロルヘキシジン製剤に対する過敏症の既往歴、薬物過敏体質の有無について十分な問診を行うこと。
 - 本剤は希釈せず、原液のまま使用すること。
 - 産婦人科用(膈・外陰部の消毒等)、泌尿器科用(膀胱・外性器の消毒等)には使用しないこと。
 - 本剤の使用中に誤って眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には、直ちによく水洗すること。
 - 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。[エタノール蒸気に大量に又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。]
- 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

 - 重大な副作用

ショック(0.1%未満)があらわれることがあるので観察を十分に行い、悪心・不快感・冷汗・眩暈・胸内苦悶・呼吸困難・発赤等があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
 - その他の副作用

	頻度不明	0.1%未満
過敏症 ⁽¹⁾		発疹・蕁麻疹等
皮膚 ⁽²⁾	刺激症状	

注1)このような症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、再使用しないこと。

注2)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

4. 適用上の注意

投与経路: 外用にのみ使用すること。
使用時:

- 反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起すことがあるので注意すること。
- 血清・膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合は、十分洗い落としから使用すること。
- 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、予備洗浄に用いた石けん分を十分に洗い落としてから使用すること。
- 引火性、爆発性があるため、火気には十分注意すること。

<使用上の注意続<>▶

1%

400

300

200

100